

一般社団法人 薬学教育協議会

第 50 回理事会議事録

日 時：平成 29 年 5 月 29 日（月） 11：00～13：00

場 所：日本薬学会長井記念館 1 階 AB 会議室

出席者：別記 1

配付書類：別記 2

○定足数について

理事総数 18 名中、17 名の理事が出席しており、本日の理事会は成立すると阿刀田事務局長が報告した。

○議案

1. 平成 28 年度事業報告

資料 1（平成 28 年度事業報告（案））に基づき、薬学教育協議会本部および各支部の事業について、阿刀田事務局長が報告した。平成 28 年度事業報告（案）は異議なく承認された。

2. 平成 28 年度決算報告

資料 2（平成 28 年度財務諸表及び収支計算書（案））に基づき、薬学教育協議会本部および各支部の収支について、唐沢公認会計士事務所円城寺氏が説明した。

欠席の中川理事から、大学は、薬学教育協議会と支部へ会費を支払っているが、薬学教育協議会から支部へ補助金が出ており、この二重構造をうまく説明することができない。支部内で完結するのであれば、薬学教育協議会からの補助は必要ないとも考えることができるとの意見が出された。また、国公立大学は国からの補助金が削減されており、厳しい状況である。会費の値上げについて考慮いただきたいと細谷理事が発言した。

平成 28 年度決算報告（案）は異議なく承認された。

3. 監事監査報告

資料 5（監事監査報告書）に基づき、上記の平成 28 年度事業報告および決算報告に対して、齊藤監事が監査報告を行った。正味財産が大きく減少しており、このまま推移すれば 2 年後の決算はマイナスとなる恐れがあるとの指摘があった。これに対し、会費の値上げは難しい状況である。今後は事業縮小および経費削減に努める。地区への補助金についても検討すると望月代表理事が回答した。また、業務監査に関する報告を三輪監事が行った。

4. 理事の退任・交代について

資料 3（第 8 期役員名簿）に基づき、阿刀田事務局長が説明した。社員代表者交代に伴い、第 8 期理事総数は 2 名減って 18 名となる（詳細は資料 3 参照）。理事が 2 名減ることについて、異議なく承認された。

また、業務執行理事は関東の理事ばかりであるため、全国からバランスよく業務執行理事を選出してほしいと北河理事が発言した。これに対し、定款を確認のうえ、次回の理事会に諮ること

になった。なお、業務執行理事数は5名以内と定款に定められている。

5. 支部長の委任について

東海支部総会において、脇屋義文氏（愛知学院大学）が支部長候補者に選出されたと阿刀田事務局長が報告し、承認された。また、再任候補者（資料4_支部長一覧を参照）についても異議なく承認された。

○協議および報告事項

1. 会員名簿の確認

資料6（平成29年度会員名簿）に基づき、平成29年度薬学教育協議会会員を確認した。

2. 社員総会議事について

資料7（第15回薬学教育協議会社員総会議事次第（案））について、「協議事項」を「議案」とすべきとの意見が出され修正することになった。議事次第案は承認された。

3. 第49回理事会議事録について

前回（第49回理事会）議事録については、メールによって承認が得られなかったため、資料8（第49回理事会議事録（案））に基づき、望月代表理事が説明した。報告事項「東京薬科大学のワークショップについて」に関し、現在進行中の東京薬科大学と薬学教育協議会との話し合い結果を含めてから、再度、理事の確認を取ることとした。

4. 第33回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会について

資料9（第33回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事次第）に基づき、望月代表理事が報告した。「広報用ポスター」について、今年度のデザインは薬局実習にそぐわないと山本理事が発言した。来年度からは名義を使用する団体に事前に許可を得る。なお、内容の見直しとして、薬局と病院の写真を両方載せる、写真は止めて文章だけにする、文章も見直す、薬剤師のこれからのあるべき業務を考えて、モノが対象ではなくヒト（患者）が対象の内容にする、などの意見が出された。

5. WEBシステム検討委員会について

資料10（第6回WEBシステム検討委員会議事録）に基づき、評価について、平成30年度にはシステムのトライアルを実施する必要があるため、薬局実習については日本薬剤師会作成の評価を掲載し、病院実習については日本病院薬剤師会作成の評価を掲載することになった。評価について、6月12日にシステム開発者を対象に説明会を開催すると阿刀田事務局長が報告した。また、「認証」ではなく「確認」とする。

実施計画書について、「週報」や「リフレクションペーパー」といった言葉が分かりにくいとの意見が出された。

評価について、統一することが望ましいと考えるが、今後統一する流れはあるのかとの質問があった。WEBシステム検討委員会はあくまでも決定したものを使用する立場なので、日本薬剤師会、

日本病院薬剤師会、薬学実務実習に関する連絡会議において、検討してもらいたいと要望した。

6. その他

・薬剤師の業務について、学生でさえ3～4割は医師の処方箋通りに薬を揃えればよいと思っている。このような認識を変えるために、薬学教育の広報について考えていただきたいと政田理事が発言した。

・教科担当教員中央会議について

教科担当教員中央会議について望月代表理事が報告した。なお、今年度より実務実習教科担当教員会議が活動を開始し、生化学系およびレギュラトリーサイエンス（医薬品評価科学）分野の教科担当教員会議が発足した。

・平成29年度会議日程について

資料12（平成29年度会議日程）に基づき確認した。今年度から理事会の開催回数が1回減り、年2回の開催となる。

・百瀬顧問が各地区への補助金支給の経緯について、補足説明した。

以上、相違ありません。

平成29年6月8日

一般社団法人 薬学教育協議会

代表理事 望月正隆

(押印済み)

監事 三輪亮寿

(押印済み)

監事 齊藤勲

(押印済み)

別記 1 一般社団法人 薬学教育協議会 第 50 回理事会出席者名簿

	氏名(敬称略)	所属・役職	出欠
代表理事	望月 正隆	学術正会員(東京理科大学)	○
業務執行理事・専務理事	増野 匡彦	学術正会員(慶應義塾大学薬学部)	○
業務執行理事	伊東 明彦	学術正会員(明治薬科大学)	○
業務執行理事	須田 晃治	学術正会員(明治薬科大学名誉教授)	○
業務執行理事	中村 明弘	昭和大学薬学部	○
業務執行理事	堀江 利治	学術正会員(帝京平成大学薬学部)	○
理事	新井 洋由	東京大学大学院薬学系研究科	○
理事	中山 和久	京都大学大学院薬学研究科	欠
理事	西島 正弘	昭和薬科大学	○
理事	大野 尚仁	東京薬科大学薬学部	○
理事	北河 修治	神戸薬科大学	○
理事	後藤 直正	京都薬科大学	○
理事	政田 幹夫	大阪薬科大学	○
理事	細谷 健一	国公立大学薬学部長(科長・学長)会議	○
理事	井上 圭三	日本私立薬科大学協会/薬学教育評価機構	○
理事	山本 信夫	公益社団法人日本薬剤師会	○
理事	木平 健治	一般社団法人日本病院薬剤師会	○
理事	奥 直人	特定非営利活動法人 薬学共用試験センター/公益社団法人日本薬学会	○
監事	三輪 亮寿	三輪亮寿法律事務所	○
監事	齊藤 勲	元厚生省大臣官房	○
顧問	百瀬 和享	昭和大学名誉教授	○
	円城寺 大樹	唐沢公認会計士事務所	○
事務局長	阿刀田 英子	薬学教育協議会	○

別記 2 配付資料

- 資料 1 : 平成 28 年度事業報告 (案)
- 資料 2-1 : 平成 28 年度財務諸表
- 資料 2-2 : 平成 28 年度収支計算書
- 資料 3 : 第 8 期役員名簿
- 資料 4 : 支部長一覧
- 資料 5 : 監事監査報告書 (当日配付)
- 資料 6 : 平成 29 年度会員名簿
- 資料 7 : 第 15 回薬学教育協議会社員総会議事次第 (案)
- 資料 8 : 第 49 回理事会議事録 (案) (当日配付)
- 資料 9 : 第 33 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会議事次第
- 資料 10 : 第 6 回 WEB システム検討委員会議事録
- 資料 11 : 第 4 回教科担当教員中央会議議事録
- 資料 12 : 平成 29 年度会議日程
- 追加資料 : 議案 1、2 に対する意見 (欠席理事より)
- 追加資料 : 業務監査に関する報告書